

地域づくりアンケートでみなさんに聞きました

Q. 地域（町内会）が主体的に取り組むべきことは？



多かった回答は…

- ①行政と連携した移住の受け入れ体制の整備
- ②これまでの活動や役職数の見直し

- ③健康づくりに関する取り組み
- ④災害時安否確認の体制づくり

● 堀内地区

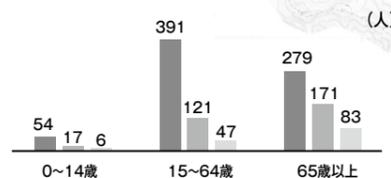
この地区は本町の西南部に位置し、主要地方道新庄・次年子村山線と大石田・畑線沿いに集落があり、最上川が悠々と流れる中流域で、舟運で栄えた歴史的な文化と遺産が残され、堀内盆踊りや堀内田植踊りなどの伝統芸能が地域住民により受け継がれている地区である。

(主な地区データ)

町内会：9団体 人口：786人 世帯数：220世帯 高齢化率：38.7%
 地区公民館数：8カ所
 事業所数：33カ所 従業者数：144人
 消防団：5部 ポンプ車：5台
 自主防災組織：8団体 地域支えあい除雪団体：6団体
 老人クラブ：1団体 いきいき百歳体操：4団体
 空き家の状況：17軒（うち老朽化空き家2軒）

(生活を支える施設等)

- 大型店舗 小売店舗 医療機関
理美容所 駐在所 JA支店
郵便局 銀行
 ・舟形町農村環境改善センター
 ・舟形徳洲苑 など
 ・JA新庄もがみ舟形支店ATM

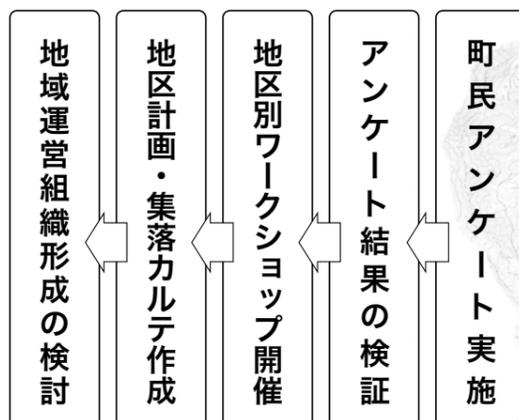


(アンケートから)

長年、町に住んでいる方の割合が高く、60歳以上の方からの回答が最も多かった。「お祭りや盆踊り、スポーツ大会などの伝統行事やイベント」に参加している方の割合が65.0%と一番高い。

「地区の将来に不安を持っている方」の割合が36.9%と他の地区より高い。

▼問い合わせ/
 舟形町まちづくり課
 ☎(32) 2111 (内線356)
 舟形町集落支援員
 舟形・長沢地区 ☎(33) 2556
 堀内・富長地区 ☎(35) 2001



事業のスキーム

● 富長地区

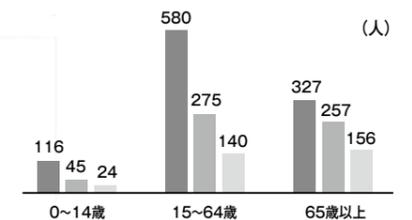
この地区は本町の西南部に位置し、主要地方道舟形大蔵線や新庄・次年子村山線沿いに集落があり、水稻のほか果樹や施設園芸、花卉花木栽培も見られる。小国川沿いに整備された桜並木を中心としたエリアは、ウォーキング、サイクリング、ラジコン飛行など、健康といやしの空間として利用されている。

(主な地区データ)

町内会：6団体 人口：977人 世帯数：254世帯 高齢化率：41.6%
 地区公民館数：4カ所
 事業所数：38カ所 従業者数：272人
 消防団：3部 ポンプ車：3台
 自主防災組織：3団体 地域支えあい除雪団体：2団体
 老人クラブ：2団体 いきいき百歳体操：3団体
 空き家の状況：12軒（うち老朽化空き家3軒）

(生活を支える施設等)

- 大型店舗 小売店舗 医療機関
理美容所 駐在所 JA支店
郵便局 銀行
 ・舟形町富長地区交流センター
 ・最上広域消防署南支署
 ・舟形徳洲苑 など



(アンケートから)

地区行事が盛んで「できるだけ参加している」という方の割合が58.1%と高い地区となっている。また、公共交通が不便だと感じている人の割合が少し高い傾向にある。

「今住んでいる地域で存続が可能」と考える方の割合が20.2%と4地区の中で一番高い。

今後の取り組み

来年度は、アンケート結果をもとに、大学機関などの協力を得ながら、町内会などでワークショップを行い、今後の課題に対応した「町内会ビジョン」を一緒に作成していきます。その後は、地区ごとにワークショップを行いながら地区計画を作成し、自分たちの地域をどうしたいのかを考えながら、地域の課題の解決方法や将来像を実現していく方法を模索していきます。

これまでのような行政主導による一律のまちづくりには、限界がきています。これをきっかけに、少子高齢化、人口減少に対応したこれからの地域づくりを、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

